

(証券コード 7702)

株式会社 ジェイ・エム・エス

# 2022年3月期 連結決算の概要

---

2022年5月12日

- 会社概要
- 2022年3月期 決算概要
- 2023年3月期 業績予想
- 中期経営計画 進捗状況

会社名	株式会社ジェイ・エム・エス
設立	1965年(昭和40年)6月12日
資本金	74億円
代表者	代表取締役社長 奥窪 宏章
上場取引所	東京証券取引所プライム市場 『精密機器』
事業内容	医療機器、医薬品の製造・販売及び輸出並びに輸入
従業員数	1,629名 (グループ総数5,359名)
本店所在地	広島市中区加古町12番17号



- 昭和30年代に入っても、日本では輸血や注射など医療に使われる機器を洗浄・消毒して、繰り返し使用していた。
- 海外では主流になりつつあったシングルユース（単回使用）の概念が、日本にはまだ定着していなかった。

## 「副作用、院内感染」の問題があった



『臨床医として、患者様には常にベストを尽くしたい。そのためにも、もっと良い医療機器がほしい。自分の手で、最も有効な医療機器を創り出すことができないだろうか』。

創業者 土谷太郎 医学博士  
1925年(大正14年)～2001年(平成13年)

## 1965年（昭和40年）

土谷太郎は(株)日本メディカル・サプライを設立、**日本で初めて※**  
シングルユース（単回使用）の「**輸液（点滴）セット**」を開発し、  
医療現場への提供を開始した。

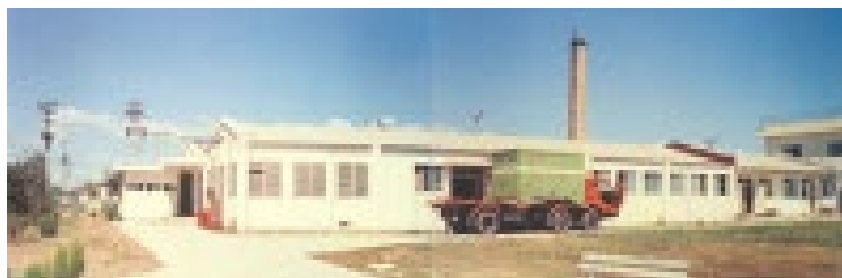
※当社調べ



初期の頃の「輸液（点滴）セット」



輸液セット自動組み立て機



昭和46年 株式会社韓国メディカルサプライに資本参加し、当社の技術援助により Disposable 医療機器の製造を開始



昭和49年  
コイル型血液透析装置  
「MC-5」



昭和54年  
気泡型人工肺  
「LH-200/300」

## 輸液・栄養領域：

医療事故・院内感染を防止する  
ディスポーザブル製品を提供

- 輸液セット
- 注射針・シリンジ
- 経腸栄養関連製品
- 摂食嚥下関連用品
- 輸液ポンプ
- 医療用手袋、不織布製品 など



## 透析領域：

血液透析と腹膜透析の両製品群  
をラインナップ

- 血液透析装置
- 人工腎臓（ダイアライザ）
- 人工腎臓用血液回路
- A V F 針（血液透析用針）
- プレフィルドシリンジ製剤
- 腹膜透析液 など



## 外科治療領域：

心臓外科、循環器内科で使用  
される信頼性の高い製品を提供

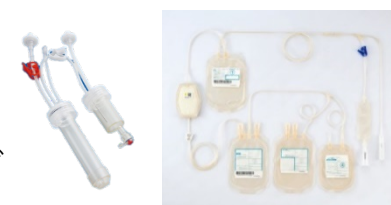
- 膜型人工肺
- 人工心肺装置
- 人工心肺用回路
- 血管造影用カテーテル
- 急性血液浄化装置
- 急性血液浄化回路 など



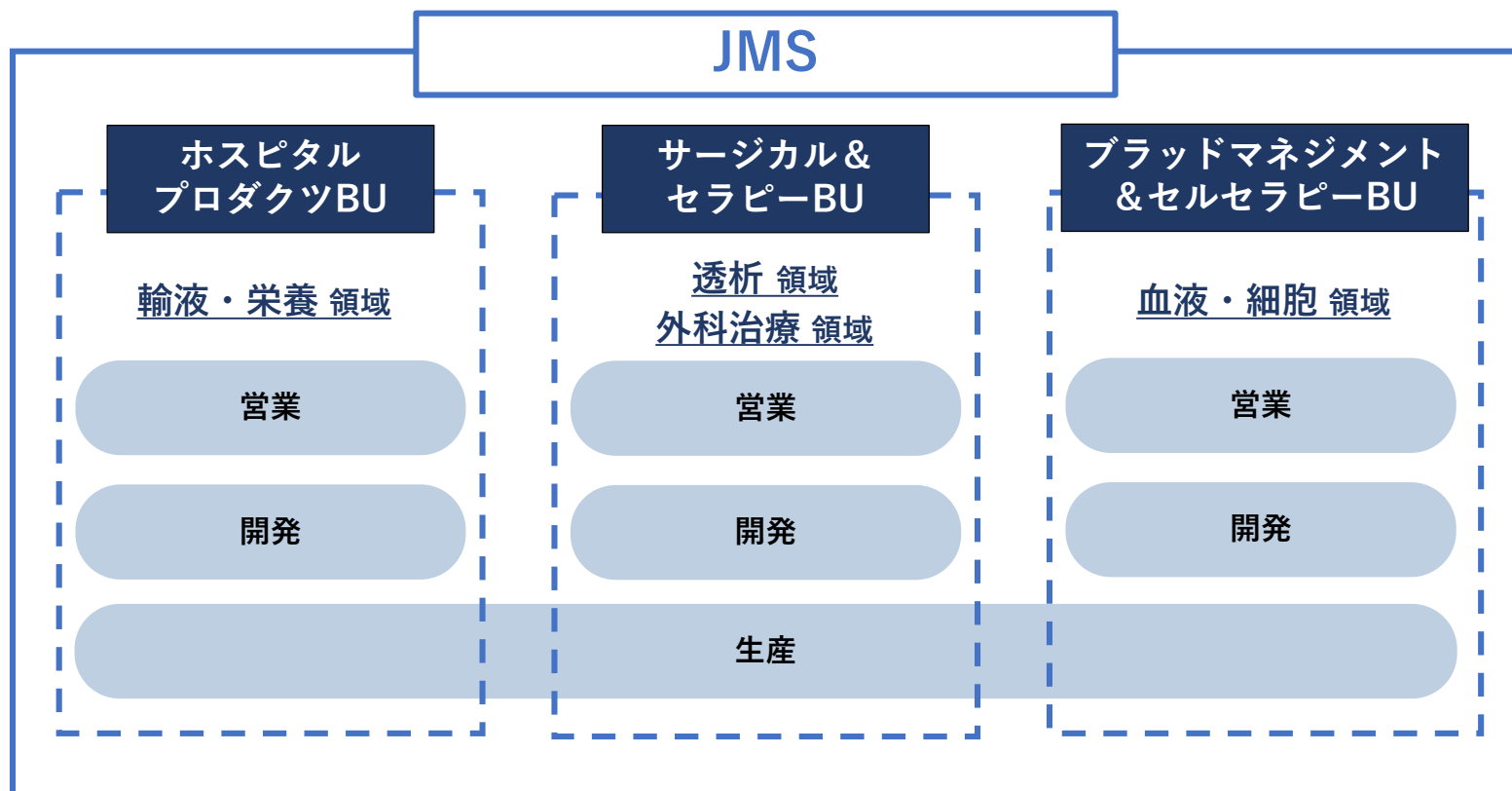
## 血液・細胞領域：

血液事業（採血から輸血まで）  
や再生医療に貢献する製品を提供

- 血液バッグ
- 成分献血用回路
- 血液成分分離バッグ
- 再生医療関連製品 など



## ■ 開発～生産～営業の一体で医療現場の課題を迅速に解決



世の中が必要な医療機器をタイムリーに提供

## ■ 本社

広島本社／東京本社

## ■ 支社・営業所

東日本支社／中日本支社／西日本支社  
営業所25カ所

## ■ 工場

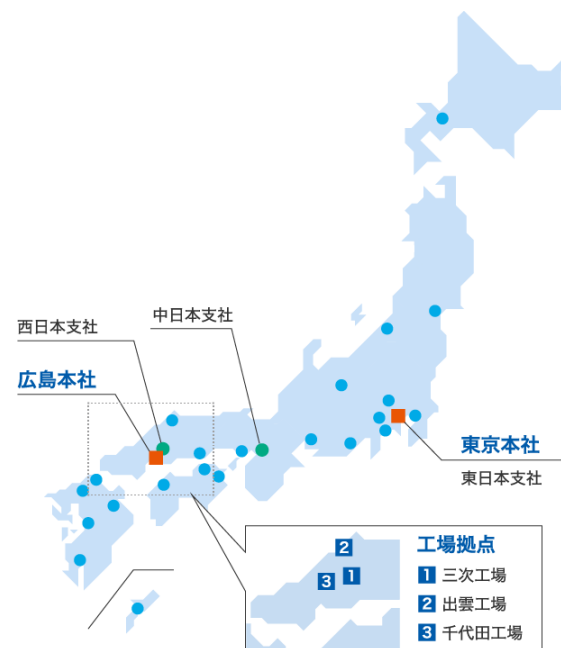
三次工場／出雲工場／千代田工場

## ■ 子会社

ジェイ・エム・エス・サービス株式会社  
(医療機器の修理等)

## ■ 関連会社

株式会社ジェイ・オー・ファーマ  
(医薬品の製造・販売)





## ■ 子会社

世界約90ヵ国に販売



● 販売拠点

● 生産・販売拠点

私たちの使命を実現するための道しるべ

## JMS WAY



創業精神 SPIRIT

かけがえのない生命のために

企業理念 MISSION

私たちは医療を必要とする人と支える人の架け橋となり、  
健康でより豊かな生活に貢献することですべての人々を笑顔にします

MANAGEMENT PLAN  
中期経営計画

# ■2022年3月期 決算概要

## 連結：増収減益

売上高 58,169百万円(+590百万円)

営業利益 980百万円(△1,146百万円)

売上： 新型コロナウイルスの影響による需要停滞が続く海外の減収を、需要回復傾向にある国内の増収で補填し増収

利益： 原材料価格や海上運賃の高騰、海外生産拠点の現地通貨高による原価率上昇の影響を受けて減益

## システム別

外科治療： 事業譲受した急性血液浄化事業の取扱品目が増加

血液・細胞： 需要停滞の継続から成分献血用回路や血液バッグの受注が減少

## 地域別

日本： 薬剤調製・投与クローズドシステム「ネオシールド」や、国際標準化機構（ISO）規格への切替えに伴う経腸栄養関連用品による新規獲得、事業譲受した急性血液浄化の取扱品目が増加

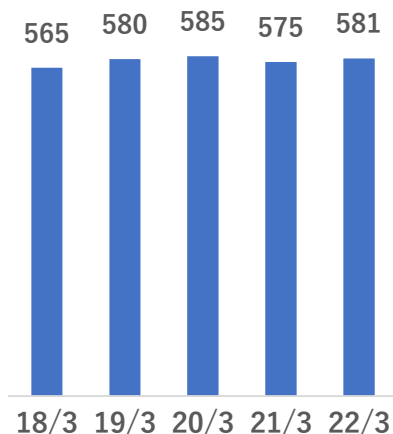
北米： 需要停滞が継続する成分献血用回路の受注減少のほか、大手顧客向けAVF針（血液透析用針）が減少

年間配当は1株当たり17円を予定（中間配当8.5円、期末配当8.5円）

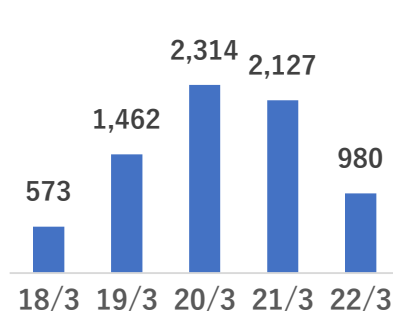
(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	増減額	増減率
売上高	57,578	58,169	590	1.0%
営業利益	2,127	980	△1,146	△53.9%
経常利益	2,013	1,126	△887	△44.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,736	826	△909	△52.4%

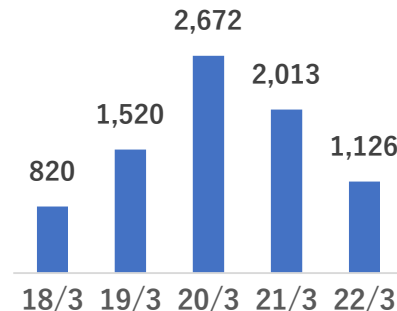
■売上高 (単位：億円)



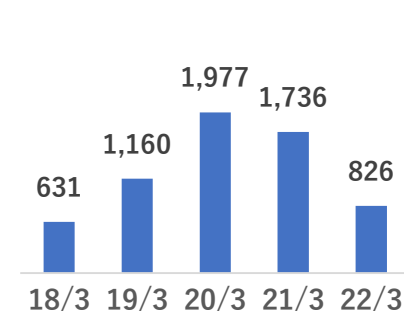
■営業利益



■経常利益



■親会社株主に  
帰属する当期純利益



# セグメント業績（拠点別、経常利益ベース）

- 売上：** 日本は輸液・栄養領域での新規獲得や、事業譲受した急性血液浄化の取扱品目の増加で連結増収をけん引、シンガポールは新型コロナウイルス影響による需要停滞の継続から成分献血用回路や血液バッグの受注が減少
- 利益：** 世界的な原材料価格や海上運賃の高騰影響を各拠点で受けるものの、フィリピンでは原料切替えなどによる効果で増益

（単位：百万円）

		2021年 3月期	2022年 3月期	増減額	増減率
日本	売上高	40,853	42,696	1,843	4.5%
	利益	1,167	1,083	△84	△7.2%
シンガポール※	売上高	19,783	17,752	△2,031	△10.3%
	利益	696	△75	△771	—
中国	売上高	3,015	3,386	371	12.3%
	利益	232	35	△196	△84.5%
フィリピン	売上高	2,922	3,157	235	8.0%
	利益	144	251	107	74.0%
ドイツ	売上高	3,140	3,432	291	9.3%
	利益	221	131	△89	△40.5%
その他※	売上高	4,031	4,059	27	0.7%
	利益	210	△6	△217	—

※シンガポールは、生産体制を相互に補完し一体とした事業活動を行うインドネシアの現地法人を含んでいます。

※その他は、国内子会社及びアメリカ、韓国、タイの現地法人の事業活動を含んでいます。

(単位：百万円)

## 輸液・栄養領域



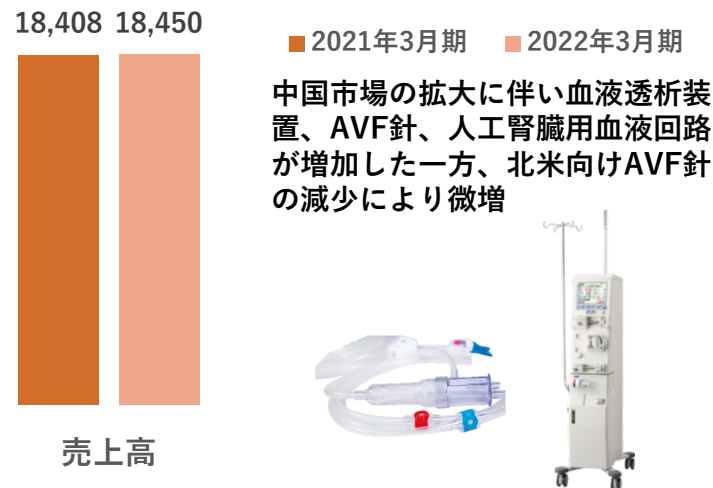
売上高

## 外科治療領域



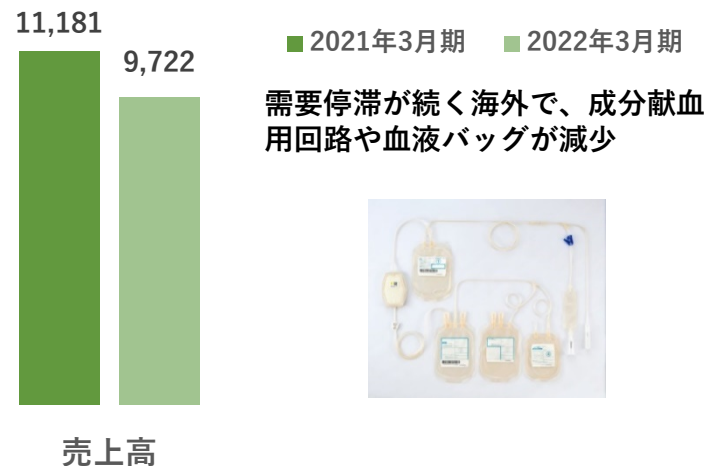
売上高

## 透析領域



売上高

## 血液・細胞領域

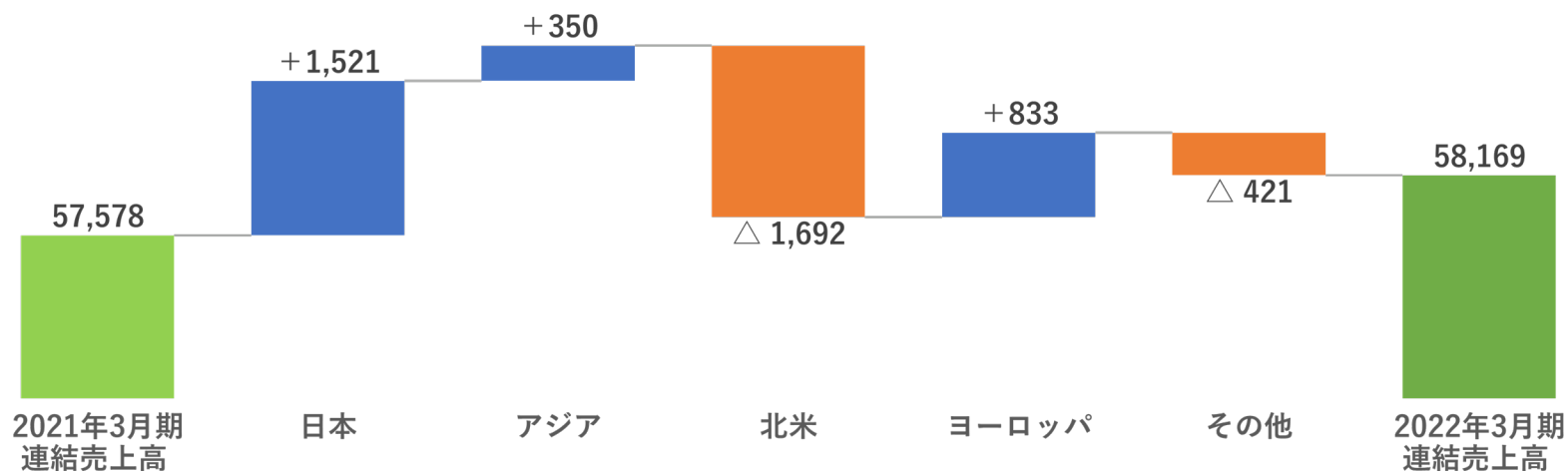


売上高

増加要因：需要回復傾向にある日本の増加に次ぎ、ヨーロッパでAVF針や成分献血用回路が増加  
 減少要因：北米では需要停滞が継続する成分献血用回路や、大手顧客向けAVF針が減少

(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	増減額	増減率	売上高 構成比
日本	36,718	38,240	1,521	4.1%	65.7%
アジア	8,080	8,430	350	4.3%	14.5%
北米	6,179	4,486	△1,692	△27.4%	7.7%
ヨーロッパ	4,994	5,827	833	16.7%	10.0%
その他	1,606	1,184	△421	△26.2%	2.1%





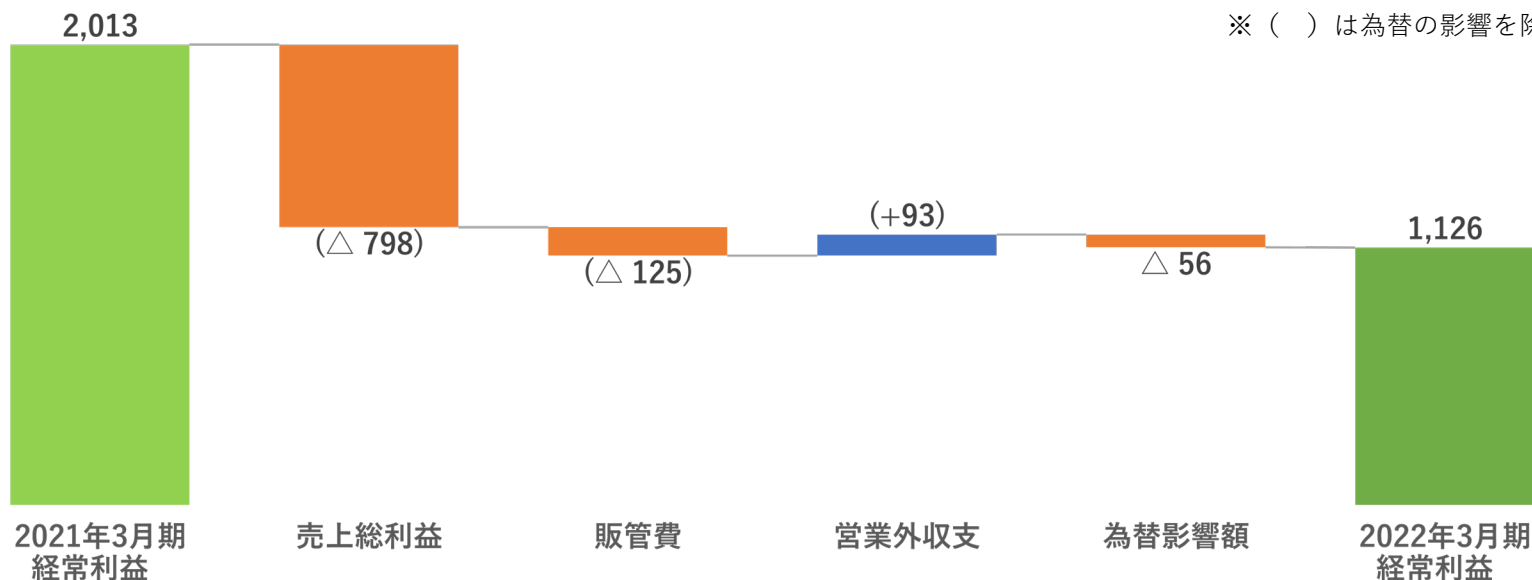
# 経常利益増減要因

売上総利益：原材料価格や海上運賃の高騰、海外生産拠点の現地通貨高による原価率上昇により減少

販管費：急性血液浄化事業に係る費用や医療施設への訪問規制緩和に伴う活動費が増加

(単位：百万円)

※ ( ) は為替の影響を除く



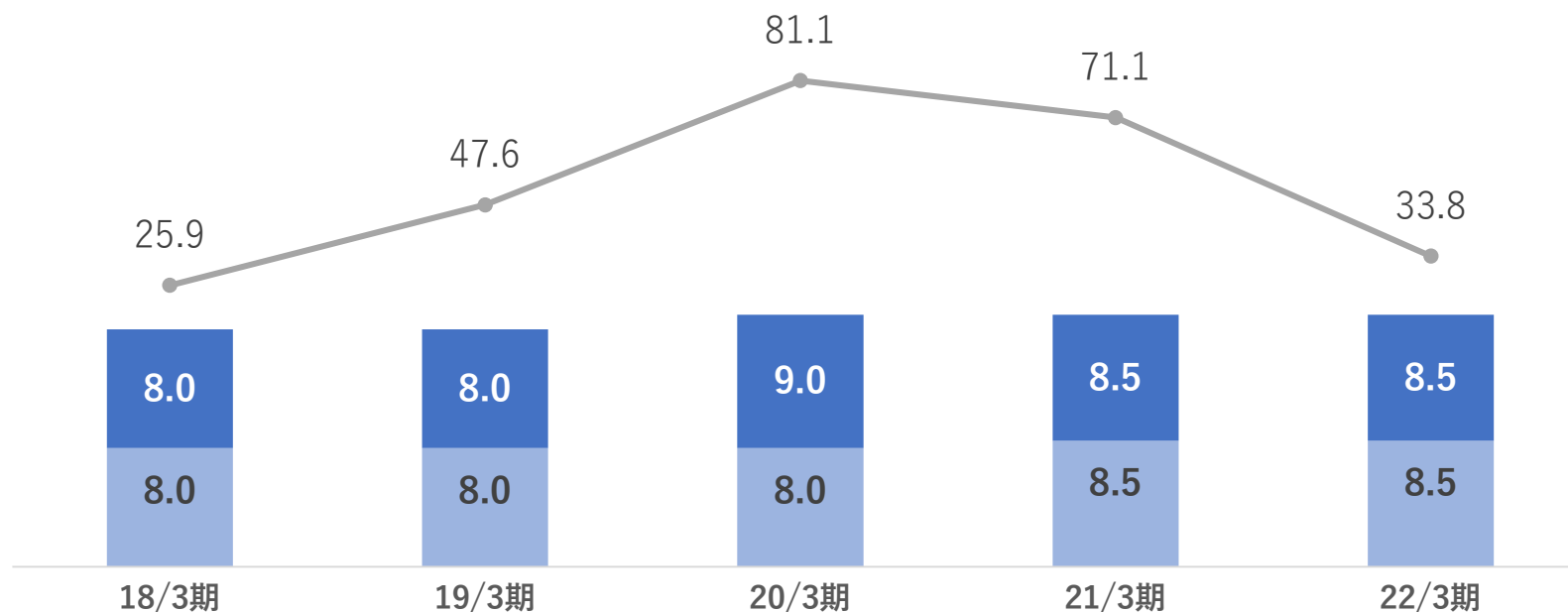
為替レート (期中平均)

	米ドル	ユーロ	シンガポールドル
2021年3月期	106.06 円	121.81 円	77.65 円
2022年3月期	112.38 円	129.89 円	83.33 円

(単位：円)

## 1株当たりの年間配当金額

■ 中間 ■ 期末 ● 1株当たりの当期純利益



※2022年3月期の期末配当は2022年6月22日開催予定の株主総会で決議予定

## ワクチン接種用シリンジの生産能力を増強 2022年3月

## ワクチン接種用シリンジを広島市へ寄贈 2022年3月

※広島市のほか、三次市や出雲市へも寄贈しております



広島市長から感謝状を授与されました 寄贈したワクチン接種用シリンジ

## 経済産業省「健康経営優良法人 2022」に 認定されました 2022年3月



## 当社の人工心肺製品が「出雲ブランド商品」 に認定されました 2022年3月

出雲ブランド商品：  
出雲市の出雲ブランド商品事業が、出雲の地で生産される商品  
や出雲とゆかりのある商品で、出雲の知名度やイメージを高め  
ることが期待できる商品を認定する制度。



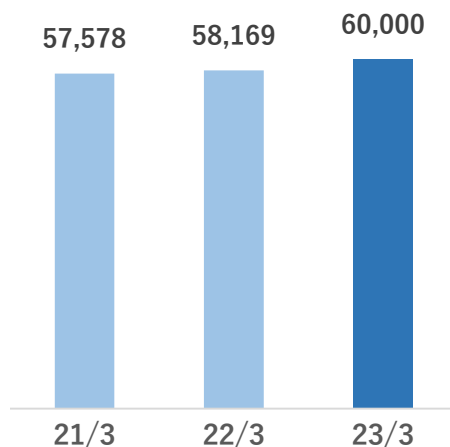
出雲工場で人工心肺製品を製造している様子 出雲ブランド商品ロゴ

# ■2023年3月期 業績予想

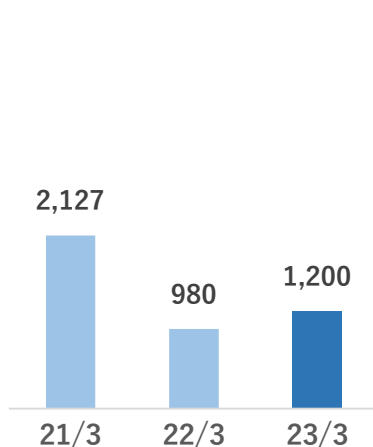
(単位：百万円)

	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期予想	対前期 増減率
売上高	57,578	58,169	60,000	3.1%
営業利益	2,127	980	1,200	22.4%
経常利益	2,013	1,126	1,200	6.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,736	826	900	8.9%

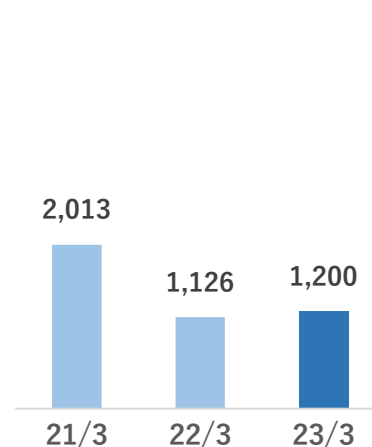
## ■売上高



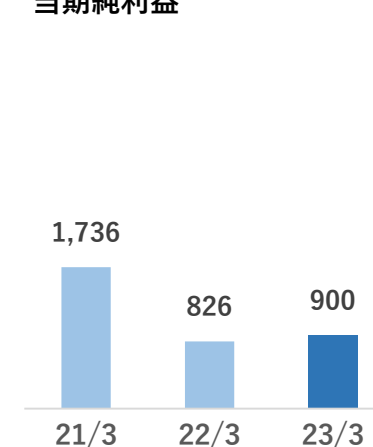
## ■営業利益



## ■経常利益



## ■親会社株主に帰属する 当期純利益



※業績予想にあたっての前提として、為替レートを、1米ドル=120円、1ユーロ=132円、1シンガポールドル=88円としております。

# ■ 中期的な取り組み

## 中期経営計画 GAIN-RG2023 (2020.04~2023.03)

---

2030年  
長期ビジョン

未来の医療を先取りした新たな価値の創造を実現し、世界の人々の健康とQOL（クオリティ・オブ・ライフ）の一層の向上を支える企業になる

中期経営計画 《GAIN-RG 2023》（2021年3月期～2023年3月期）

## ◆基本方針

### 1 顧客起点の深化

医療現場と密接した顧客起点の事業運営を深化させ、顧客も自覚していない潜在ニーズを突き止め、共に課題解決することで、新たな成長を実現

### 2 収益向上への変革

グループ経営を支える人材、組織、制度、体制など、あらゆる観点から役割の見直しと強化を図り、安定的かつ持続的に収益が得られる企業体質への変革を推進

## ◆取り組み

### 1. 事業ポートフォリオの最適化

事業の競争力と各事業の連携を高め、事業収益を拡大

### 2. グローバル体制の強化

海外における事業領域と売上を拡大し、世界に通じるブランドを構築

### 3. 次世代事業の創出

将来を担う事業の創出に挑戦

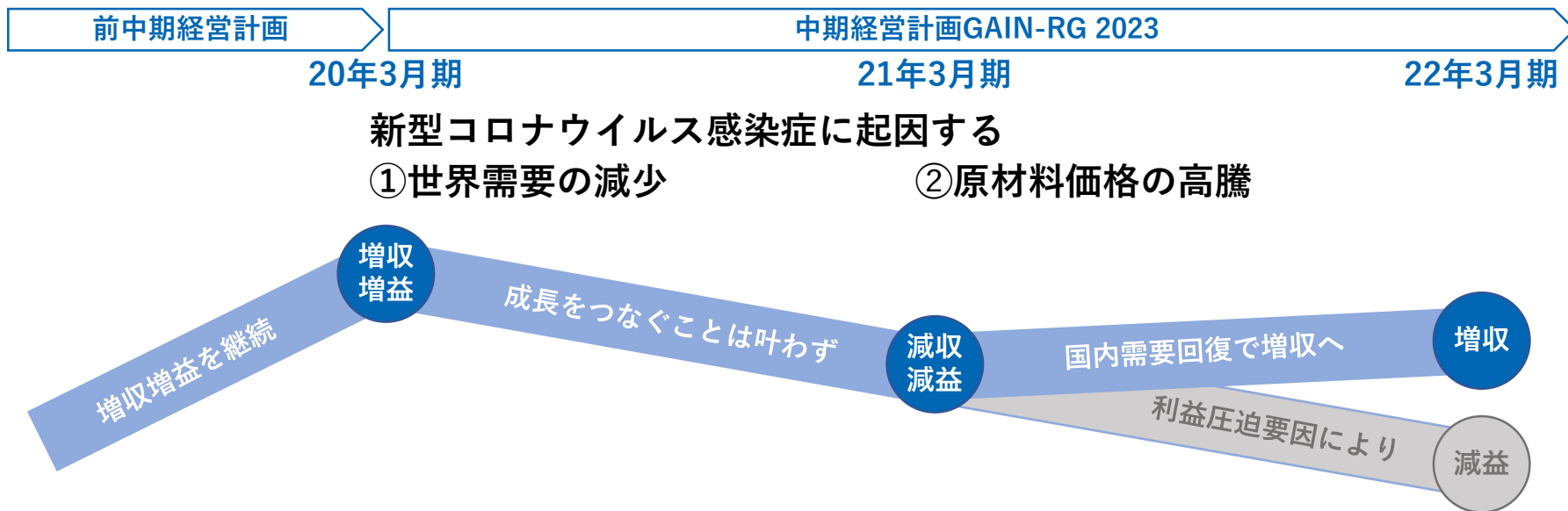
### 4. グループ経営基盤の強化

人材、組織、制度、体制など、環境や戦略に適応した経営基盤の強化

### 5. 持続可能な社会の実現

SDGs達成への貢献とともに持続的な企業価値向上を実現

# 2年間の振り返り



コロナ禍において医療を支えるために事業継続と安定供給に注力  
ワクチン接種用シリンジの開発など適時対応を進める

新たな施策も織り込みながら掲げる取り組みを加速  
外部環境要因に打ち勝ち、業績回復へ！



## ホスピタルプロダクツBU

### 輸液領域

「キュアセンス」



GOOD  
DESIGN  
AWARD  
2020



### 栄養領域

ISO化、豊富な品揃え



### がん領域

「ネオシールド」  
システム拡充



## サージカル&セラピーBU

### 透析領域



業務のサポートからトータル診療システムへ  
**ERGOTRI-HT**  
JMS透析情報システム エルゴトライ

データ連携

電子カルテ



### 外科治療領域

アライアンス活用



### 急性血液浄化

外科治療領域  
とのシナジー

救命・集中治療  
領域へ展開



## ブラッドマネジメント&セルセラピーBU

### 血液領域



### 細胞領域

「セルキュア」  
(細胞凍結保存容器)



GOOD DESIGN AWARD 2021  
**BEST 100**



開発パイプラインに  
沿って新製品を上市

## 現地ニーズに合わせた最適なエリア・プロダクト・ミックス戦略を推進 中国・ASEANを中心にグローバル展開を加速

### 中国) 日本式血液透析システムの事業展開

#### 施策1

大連工場を活かした消耗品の拡大  
AVF針、専用血液回路

#### 施策2

装置の現地生産化を推進  
透析液溶解装置

#### 施策3

現地代理店との密接な連携  
研修センター開設、学会展示

#### 施策4

透析に続くコア事業の確立へ  
輸液・栄養領域の展開を準備

中国) 安全・安心で高品質な  
JMSブランドの浸透

稼働台数  
着実に増加

ASEAN) 販売子会社や生産拠点を  
持つメリットを活かした販売拡大

## 医療のイノベーションを実現し、次世代事業の創出に挑戦を続ける

薬剤調製・投与クローズドシステム  
「ネオシールド」

システム拡充により  
順調に販売伸長



海外展開

薬事承認申請  
最終準備(米国)

日本で唯一、舌圧を定量的に測定  
「JMS舌圧測定器」

高齢化の進展に伴い  
口腔機能維持に注目



海外に普及

韓国に続き欧州で  
販売開始

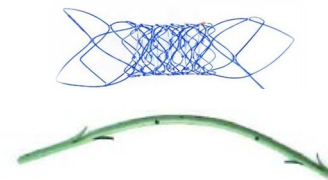
進化するデジタル技術と  
融合した新価値の提供



医療DXの推進

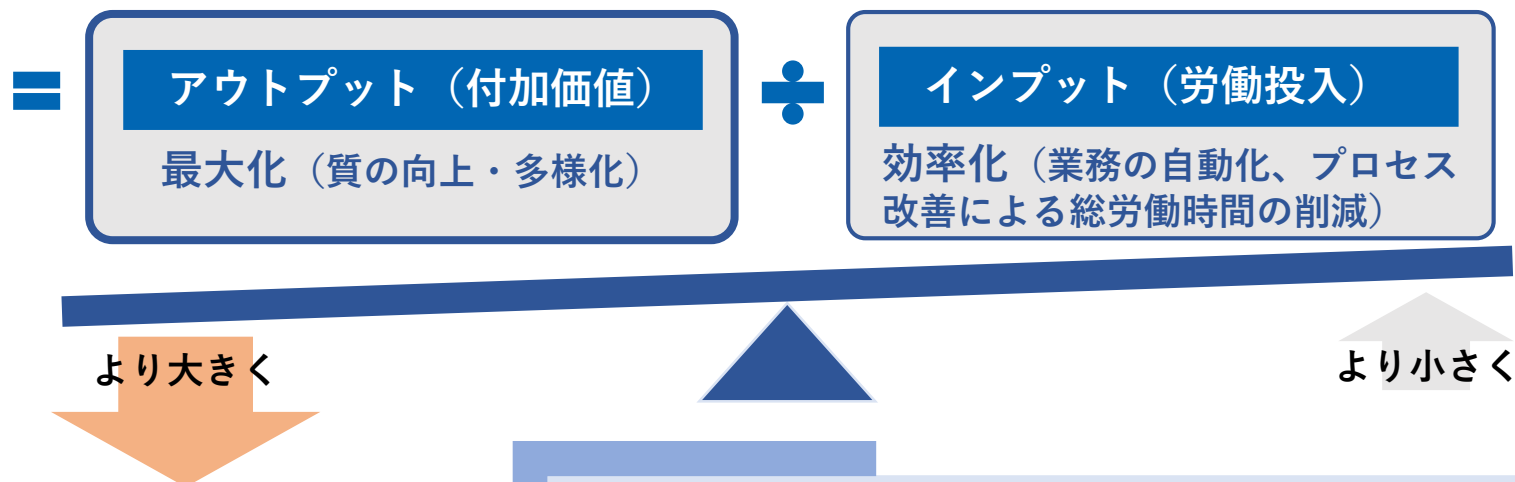
生分解性材料の技術展開

消化管、膵管ステント



## 労働生産性の向上による成長と分配の好循環を実現

労働生産性の向上（就業時間あたりの付加価値）

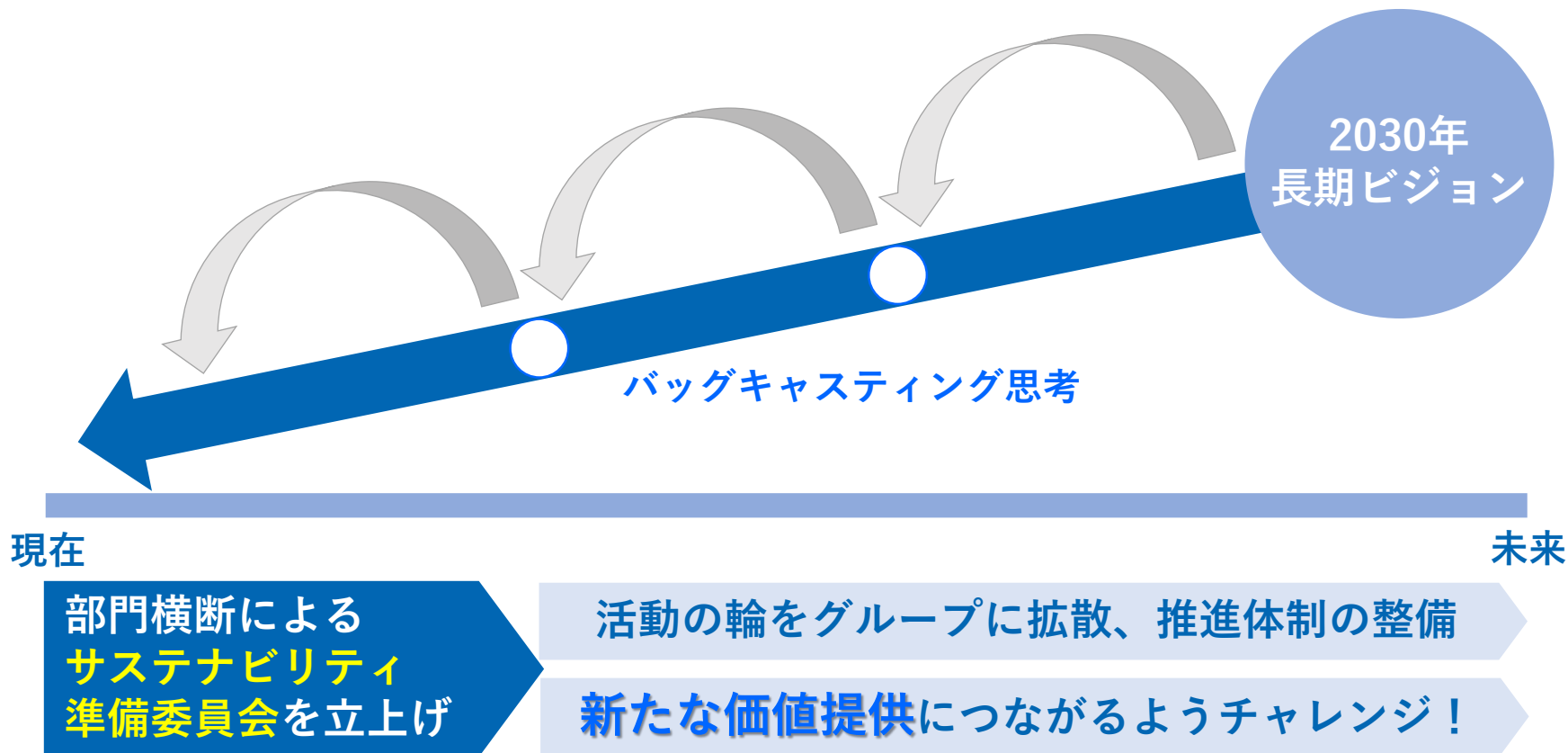


人事制度改定：  
人材育成の強化と労働環境の更なる整備

D X 推進：  
業務イノベーションにつながる基幹系システム刷新

最適生産推進：  
自動化設備導入による能力増強と生産性向上

中長期的に企業価値を高め、長期的耐久性を備えた会社へと変革  
ステークホルダーと一緒にあって持続可能な社会づくりにチャレンジ！





人と医療のあいだに…

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。